

1分で読みとく先進国

読得
ヨミトク

No.75

ラッキーカンントリー ～オーストラリア大使館訪問記～

ラッキーカンントリーと呼ばれるオーストラリア。豊かな資源に支えられ、強固な経済基盤を持つ、先進国の中でも不動産の人気投資対象国です。前回のブラジル大使館訪問に引き続き弊社社員が豪州政府財務省在日代表のケイトさんに色々とお話を伺ってきました！

●最も注目するアジアの5カ国

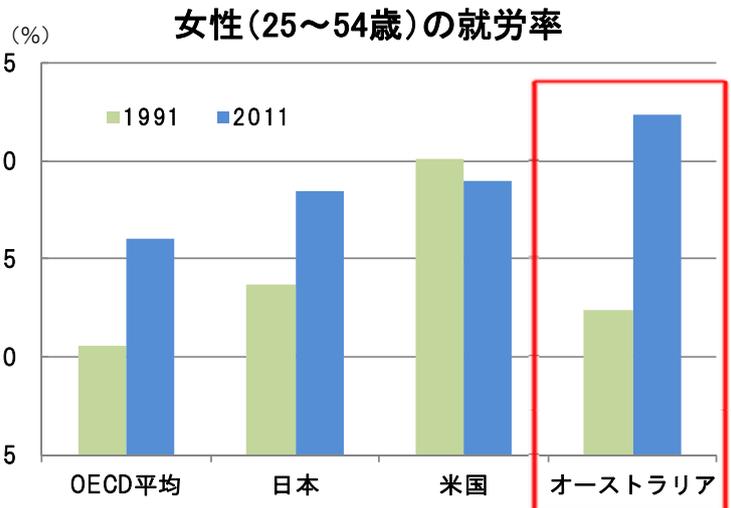
オーストラリアでは「21世紀はアジア時代」と考え、アジアの国々とwin-winの関係を目指しているそうです。特に注目する5カ国は、中国、日本、インド、インドネシア、韓国。日本を除くと、いずれも当社が提唱する成長国（グロース・マーケット）の国々ですね。オーストラリアは鉄鉱石などの鉱業だけでなく、金融サービス、ヘルスケアサービス、食品など様々なものをアジアに供給でき、地理的にも恵まれている、とお話いただきました。近年では、子供たちの教育の場でもこれらアジアの言語を学ぶ機会が増えてきているそうです。



豪州政府財務省在日代表ケイト・フィップスさん(右)と

●女性のパワーが社会を支える？

働く女性の多いこともオーストラリアの成長を支える要因のようです。OECDによれば、2011年度の女性の労働参加率は72.4%。1991年の調査と比較すると就労率は急上昇し米国を追い越す程に。さらに、スペシャリスト職に就く女性の数はもはや男性を上回っているとのこと。オーストラリアではワーク・ライフ・バランスが機能しており、活躍する女性は年々増加しているようです。そういえば、現在のオーストラリアのジュリア・ギラード首相も女性ですね。



出所：OECD Stat

成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp



Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。経済、市場等に関する予測は、高い不確実性を伴うものであり、大きく変動する可能性があります。弊社及び予測機関は、予測値の達成を保証するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。
<審査番号：91171.OSF.OTHER.MED.OTU> © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.